

奈良博だより



[特別陳列]

お水取り

[特集]

知られざる

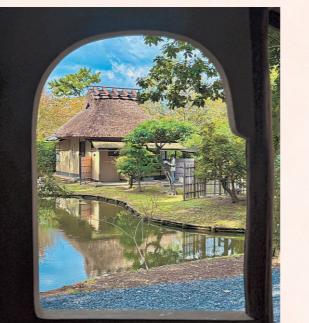
奈良博庭園の見どころ

[特別展]

神仏の山
吉野・大峯
—藏王権現に捧げた祈りと美—



学芸部長
吉澤 悟が推す!



△ちょっとマニアな／
イチオシPOINT その1

この庭園最大の見どころである茶室・八窓庵⑤。ぜひ公開日に訪れ、じっくり見学してほしい。八窓庵を愛してやまない吉澤のおすすめは、腰掛待合③の窓越しの風景。



△ちょっとマニアな／
イチオシPOINT その3

八窓庵の入り口にある中門⑨の六角形の柱は、ナタで削った風合いが生かされている。ちなみに露地門⑥の屋根は杉皮を竹で押さえるだけの「大和葺き」。そんな細部にも風情がある。



△ちょっとマニアな／
イチオシPOINT その2

大分県国東半島にだけ見られる石塔「国東塔」(南北朝時代)⑧。このほか、「般若寺型石灯籠」(江戸時代)①などの石塔が点在する。解説板もあるのでじっくり読んでみてほしい。



△ちょっとマニアな／
イチオシPOINT その4

庭園の各所に置かれた庭石の中には、古代の礎石(建物の柱などを支える石)がチラホラ。これらは奈良博らしい趣ある庭園空間を演出している。



奈良博の西新館裏手の庭園に、茶室「八窓庵」があることをご存知でしょうか? 由来を持つ石塔などと自然が織りなす魅力をご紹介します。

風情ある茶室たたずむ奈良博の庭園を味わう

庭園の見どころガイド

通常非公開の奈良博庭園は、不定期で公開しています(八窓庵は外観のみ)。詳しい日程や見どころガイドは奈良博ウェブサイトでご確認ください。



詳細はこち
ら！

奈良博・西新館のピロティから窓の外を眺めると、そこには庭園が広がっている。その中核をなすのは、「大和三茶室」に数えられた中で唯一奈良に現存している、茶室・八窓庵。興福寺の大乗院にあつた江戸時代中期の茶室を、奈良博の敷地内へ移したものだ。茶人としても知られる武将・古田織部好み(茶道でいう「好み」とは有名茶人の趣向をなぞらえること)の多窓式の茶室である。二〇二二年には、費用の一部にクラウドファンディングによる寄付を使用した改修が行われた。

草書の「心」の字をかたどった「心字池」の水面に映る八窓庵は格別に美しく、春には平安時代の和歌にも詠まれた奈良の桜、ナラノヤエザクラ、薬師寺や氷室神社から寄贈された桜などが順に花をつける。ぜひ庭園公開日に訪れ、ゆったりくつろいでほしい。

「ここる瑠璃めく 正倉院の宴」を終えて

正倉院展をもっと深く楽しん
でいただきたい！ そのための特
別企画として、奈良博では登大
路ホテルと共同で「ここる瑠璃め
く 正倉院の宴 奈良国立博物館
井上館長とたどる宝物の美学」

を開催しました。

正倉院展の会期中に三回行わ
れたこのイベントでは、登大路ホ
テルを会場に、館長と研究員によ
るトークショーにはじまり、正倉
院宝物の瑠璃坏に基づいた再現
グラスを使ってシルクロードの香
り漂う極上のワインを楽しみ、奈
良時代の木簡に記された食を
使ったフランス料理のコースを身におそらく百濟製とみられる
銀の脚部が取り付けられています
が、製作当初は脚部も一体の
ガラス製であったという想定の
もとに今回は全体をコバルトで
発色させたアルカリ石灰ガラス
で製作。ガラスに含まれた気泡
の入り具合も宝物に寄せたこだ
わりの逸品です。

また提供料理の食材としては



(交流推進室主任研究員
三田 覚之)

古代の乳製品として知られる蘇

や古代米、古代から重要な海産
物であったアワビやウニを使用
し、それぞれの食材に因る万葉集の歌や神話を紹介しました。
登大路ホテルに宿泊の後、翌日には早朝の開館時間に合わせ
て会場で研究員の解説付きの鑑賞会を開催。大変好評のうちに
充実した博物館体験をして頂き
ました。なお、収益の一部は奈良
博の文化財の保護や研究活動に
使用されます。

奈良博公式Instagramアカウントを開設しました

10月1日(水)に、奈良博公式Instagram(@narahaku_pr)を開設しました。展覧会のご案内から敷地内のオススメスポットまで、ときには四季折々の鹿の様子を添えて、奈良博の魅力を発信していきますので、ぜひフォローをお願いいたします。みなさんの投稿にも、ハッシュタグ「#奈良博」をご活用ください。

ならはく留学生の日 盛況でした！



News

サンデートーク

毎月1回、日曜日に当館研究員や専門家がとつておきの話をする恒例の講演会です。美術・歴史に関することから博物館の取り組みに至るまで、ナラハクならではの多彩なテーマが揃います。2025年度中は開館130年にちなんだ様々なテーマでつなぐ《スペシャルサンデートーク》(★印)となります。

1月18日(日)★
「釈迦をめぐる美術と奈良博」
内藤 航(当館資料室研究員[彫刻担当])

2月15日(日)★
「聖なる珠『宝珠』の美術」
三本 周作(当館美術工芸室主任研究員[工芸担当])

3月15日(日)★
「文化財写真と奈良国立博物館—その歴史と『いま』—」
宮崎 幹子(当館文化財課長[情報担当])、
西川 夏永(当館資料室写真技師)
※3月15日(日)のみ定員90名

時間	13:30～15:00(13:00開場)
会場	当館 講堂
定員	各180名※3月15日を除く(事前申込抽選制)
申込方法	要事前申込(ウェブ申込み) ※当日申込での参加はできません。
受付期間	当館ウェブサイトの「サンデートーク」から各講座欄をご覧ください。
受講料	無料(展覧会観覧券等の提示は不要)

イベント

特別陳列 お水取り

2月14日(土)
「東大寺二月堂修二会行事・入門編
～参籠する僧侶の役割～」
講師:狭川 普文 師(東大寺長老・東大寺総合文化センター総長)

時間	13:30～15:00(13:00開場)
会場	当館 講堂
定員	各180名(事前申込抽選制)
申込方法	要事前申込(ウェブ申込み) ※当日申込での参加はできません。
受付期間	1月19日(月)10:00～2月2日(月)17:00
受講料	無料(展覧会観覧券等の提示は不要)



狭川 普文 師
(昨年度の公開講座
の様子)

予告 吉野・大峯展 公開講座

特別展「神仏の山 吉野・大峯—蔵王権現に捧げた祈りと美—」の会期中、公開講座を開催します(3月より順次申込開始予定)。詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

Events

名品展無料観覧日に 仏像館の西側入口を開放します！



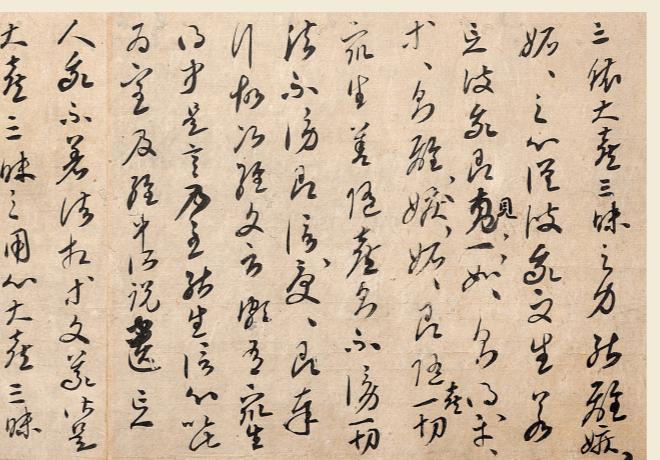
明治27年(1894)に完成した、奈良で最初の本格的西洋建築である仏像館(重要文化財 旧帝国奈良博物館本館)。特に玄関まわりの装飾は意匠にすぐれ、130年の時を経た今なお、奈良の景観のなかに美しくたたずんでいます。節分の日(2月3日[火])には、普段は閉鎖している仏像館西側入口を開放します。当日は名品展を無料でご観覧いただけます(西側開放は16時まで。なお、雨天の場合、開放は中止となります)。展示とともに、建物の雰囲気もお楽しみください。



NEWS 3 写真展「開館130年記念 三千世界 奈良国立博物館 名品撰—写真家・六田知弘の眼」

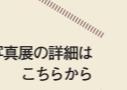
第4期 12月23日(火)～2026年3月29日(日) ※期間は変更する場合があります。

2025年4月より地下回廊で開催している六田知弘氏の写真展も、残すところあと1期となりました。今期のおすすめは、仏教界の偉人、空海による「金剛般若經開題残巻」。あらゆる執着を断つ知恵を説く經典『金剛般若經』を、軽妙な草書によって解説しています。書の名人としても知られる空海の筆致に肉薄する、六田氏渾身の一枚です。



国宝 金剛般若經開題残巻
空海筆
平安時代(9世紀)
写真:六田知弘

写真展の詳細は
こちらから



NEWS 1 奈良博公式Instagramアカウントを開設しました

奈良博公式Instagramは
こちらから！



NEWS 2 ならはく留学生の日 盛況でした！

11月8日(土)に開催したならはく留学生の日「茶道体験&正倉院展観覧」には、アジアや欧米の方々まで、広くご参加いただきました。庭園内にある江戸時代中期に建てられた茶室・八窓庵での茶道体験は大変好評でした。



News

